



4月号

ひだまり

今月のエッセー

新しい風



この季節になると爽やかな風が部屋の中を通り抜けて、季節の香りなどを運んでくれます。

思い返せば早いもので、曹洞宗総合研究センターに入所してから一年という時間が経ちました。その間に、様々な出会いとたくさんの方の素晴らしい体験をして今日に至ります。

ルンビニ合掌苑にお伺いするようになったことは私にとって、非常に大きな出来事でした。祖父母と一緒に暮らしたことのない私にとっては、おじいちゃんやおばあちゃんがたくさんいらっしゃる施設という存在は決して身近なものではな

仏教のこぼれ

みよづいぢたなつこころにあい

「明珠在掌」



「明珠」とは、価値のある宝物のことです。すなわち、この言葉が意味するところは「宝物は自分の手の中にある」ということです。

私が幼い頃に読んだ漫画で、主人公が幸せになりたいと、宝物を探すために世界中を冒険して、最終的に手に入れることが出来た、という物語がありました。私はその主人公を自分に重ね、「いいなあ。自分も何か素晴らしい宝物を手に入れて幸せになりたい。どこにあるのだろう。」と思っていた時期がありました。

「明珠在掌」は、そんな幼い疑問に答えてくれた言葉です。

例えば、私たちは他人との比較によって、優劣をつけて優越感に浸ったり、劣等感にさいなまされます。でも、ちよつと待って。そもそも私たち一人一人には個性があり、みんな特徴が違います。言うなれば、比較出来る存在ではなく、唯一無二の存在です。先程の漫画で例えれば、私たち一人一人が世界でたった一つの宝物です。そんな「わたし」(個性)という宝物の素晴らしさに気づくこと。そして、その宝物は既に自分の中にあり、輝かせられること。そのようなことをこの言葉は、私たちに伝えていきます。

◆田中仁秀 (たなかじんしゅう)

編集後記



春。先月は國生さん、竹村さんが卒業し、そして間もなく新入生を迎えて新年度が始まりました。先輩を見送り、新入生を迎えるのは私にとってこれで二度目。最終年度の始まりです。別れに続いて、四月に新人を迎えるというのは、毎年そこかしこで変わらず繰り返されていることです。それを眺めている立場では他人事でしたが、実際にその境遇が自分に迫って来ると、特別に意識して、この一年新たな気持ちで過ごしたいと今更ながら思っています。

気持ち・メンバーを改めて、この一年もどうぞ宜しくお願い致します。

◆田代浩潤 (たしろこうじゆん)

発行 曹洞宗総合研究センター教化研修部門

〒一〇五・八五四四

東京都港区芝二・五・二曹洞宗事務庁内

☎〇三・三四五四・六八四四

かったからです。

そういったこともあり、正直なところ未知の体験なので最初は不安でいっぱいでした。しかし、そんな不安はどこ吹く風で、さながら暖かな空気に包まれた様な錯覚さえ感じました。そう思うことが出来たのも、ルンビニ合掌苑の皆さんに温かく迎えて頂けたからだと思えます。そんな素敵な体験が出来てとても充実した一年でありましたが、風の様に時間は通り抜けて行ってしまいました。それを惜しむ思い(あの時ももう少しすれば良かった)があり、少しせつない気持ちになります。

そう思いつつもそんな私を待つてはくれず、また新しい風が吹きました。

それはまるで、気落ちしている私に対して叱咤激励するかの様な生命力に満ち溢れた力強い風でした。それを体いっぱい感じた時に、今年は去年出来なかったことに目を向け、より一層頑張っていこうと思えました。

さて、この一年がどの様な年になるのか楽しみです。

◆伊藤正法 (いとうしょうほう)

よろしくお願い致します！



ほんだ しんたい
本田真大さん

出身地…兵庫県
趣味…自転車 音楽鑑賞
座右の銘…天敬愛人

はじめまして。私は兵庫県丹波市の自然豊かな田舎にあるお寺で生まれました。
東京の大学を卒業後、福井県の大本山永平寺にて修行させていただきました。
永平寺を建立されました道元禅師さまは、「仏の道を知ること、自分について知ることである」と仰られておりますが、二年間の厳しい修行の中で、至らない自分を知り、向き合うことが出来、かけがえのない経験をさせていただきました。
まだまだ修行の足りぬ身ですが、ルンビニ合掌苑の皆さまと共に仏の道を学んでいけたらと思っております。
どうぞよろしくお願い致します。



新メンバー紹介



ふかざわりょうどう
深澤亮道さん

出身地…岩手県
趣味…ロードバイク バイク ギター
座右の銘…和顔 愛語

はじめまして。私は作家の宮沢賢治や旧五千円札の新渡戸稲造など偉人を多く輩出している岩手県の花巻市という場所で生まれ育ちました。
大学卒業後に大本山永平寺にて、修行をさせていただきますました。修行時代に切に気づかされたことは感謝ということです。どんな形であれ、仏縁によって人として生を受け、生かし生かされているということに心から感謝をしなければいけないと気づかされました。
まだまだ若輩者ですが、ルンビニ合掌苑の皆さまとのご縁を大切に、学ばせていただけることを楽しみにしています。
どうぞ、よろしくお願い致します。

